

事業番号	04 06 02	事業改善シート（令和7年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	子ども・若者育成支援事業	部局	県民文化部 こども若者局	課・室	次世代サポート課		
		実施期間	S28 ～	E-mail	jisedai @ pref.nagano.lg.jp		

1 現状と課題

・本県における不登校児童生徒は増加傾向にあり、民間施設を利用する児童生徒も増加しているが、民間施設の財政基盤が脆弱であり学校と比較して子どもの学びの充実を図ることが困難。また、困難を有する子ども・若者支援として、子ども・若者の将来を見据えた支援機関同士の連携を更に進める必要がある。

・信州子どもカフェは県下221か所（R6年9月）と前年比で増加したが、約4割の町村には未設置であり、身近な地域の居場所としてはまだ不足している。

・県内にも一定数のヤングケアラーが存在することから子ども・若者に関わる関係機関が連携して、いち早い当事者の把握・具体的な支援を行う必要がある。

2 事業目的

長野県の全ての子ども・若者が健やかに育つことができ、また支援を必要とする子ども・若者を支えることができる社会の実現を目指す。

3 事業目的を達成するための取組

- ① 青少年の健全育成の推進**
- ・長野県遊技業協同組合からの寄付金を「こどもの未来支援基金」に積み立てることによる増額
※その他事業は当初予算のとおり
- ② 子どもの居場所づくりの推進**
- ・フードバンク団体コメ等緊急支援事業の実績見込みによる減額
・テクノホーム長野株式会社、株式会社共和コーポレーション等からの寄付金を「こどもの未来支援基金」に積み立てることによる増額及び、当年度の「信州子どもカフェ運営支援事業」の財源とするための財源更正
※その他の事業は当初予算及び6月補正予算、11月補正予算追加分のとおり
- ③ 困難を有する子ども・若者への支援**
- ・信州型フリースクール推進事業の実績見込みによる減額
・株式会社八十二長野銀行、セイコーエプソン株式会社からの寄付金を「こどもの未来支援基金」に積み立てることによる増額
※その他事業は当初予算のとおり
- ④ 発達障がい者への支援**
- ・長野県発達障がいサポート・マネージャー配置事業の実績見込みによる減額
※その他事業は当初予算のとおり
- ⑤ 子どもや若者への支援**
- ・長野県大学生等奨学金事業の実績見込みによる減額
・公益財団法人千曲寮からの寄付金、基金運用益等を「信州の学生修学等支援基金」に積み立てることによる増額
※その他事業は当初予算のとおり

4 成果指標

（推移の凡例 ア：改善 ヱ：悪化 →：変化なし ー：数値なし）

No.	指標名	単位	R4年度			R5年度			R6年度			R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	実績	推移	実績	実績	推移			
①	地域における子どもの性被害防止等のための研修会の参加人数	人	15,484	18,997	ア	21,768		ア	12,000					子ども・若者支援総合計画において5年間の延べ参加者数を6万人にすることが目標のため、R7年度は12,000人を目標とする。
②	県が主催する信州子どもカフェに関する研修会参加者数	人	37	83	ア	97		ア	80					R6年度の信州子どもカフェ（約200箇所）のうち、の4割以上の参加を目標とする。
③	子ども・若者支援地域協議会における要支援者の支援完了及び継続者の割合	%	93	93	→	96		ア	95					困難を抱える子ども・若者（要支援者）に対する、関係機関の効果的な連携支援を推進するため、9割以上を目標とする。
④	発達障がい者サポーター養成講座の受講者数	人	368	461	ア	493		ア	400					R11年度に累計受講者数20,000人を目標とする。R5年度時点で累計受講者が17,672人であるため、400人を目標とする。
⑤	奨学金が進学の後押しになったと回答した者の割合	%	ー	100	ー	100		→	60					日本学生支援機構給付奨学金における同様の設問における回答（R3）が59.9%であることから、6割以上を目標とする。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値
4-1②	子ども・若者が夢を持てる社会の創造	ヤングケアラー支援ネットワーク体制を構築している市町村数	市町村	2022 (R4)	1	2023 (R5)	58	2024 (R6)	77	2027 (R9)	77
4-1②	子ども・若者が夢を持てる社会の創造	☆信州こどもカフェ設置数	か所	2022 (R4)	191	2023 (R5)	218	2024 (R6)	224	2027 (R9)	270
4-1②	子ども・若者が夢を持てる社会の創造	☆信州こどもカフェ設置市町村数	市町村	2022 (R4)	50	2023 (R5)	52	2024 (R6)	54	2027 (R9)	77
5-2①	一人の子どもも取り残されない「多様性を包み込む」学びの環境の創出										

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	うち今回補正額	合計 (予算現額) うち一般財源		
R7年度	30,072	422,404	401,615	140,107	854,091 245,319		12.0
R6年度	4,349	314,199	20,324		338,872 182,182	292,634	12.0
R5年度	0	214,377	25,948		240,325 108,916	222,781	10.0

事業番号	04 06 02	細事業一覧（令和7年度実施事業分）	□当初要求 □当初予算案 ■補正予算案 □点検			
事業名	子ども・若者育成支援事業		部局	県民文化部 こども若者局	課・室	次世代サポート課

細事業 No.	細事業名		R5年度 予算現額	R6年度 予算現額	R7年度 予算
1	青少年の健全育成事業		21,498 千円	21,485 千円	予算現額 29,303 うち今回 1,000 補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	長野県将来世代応援県民会議（青少年育成事業）補助事業	補助金	・青少年健全育成運動を行う長野県将来世代応援県民会議に対し、補助金（青少年サポーター設置事業、子どもの性被害予防のための取組支援事業、青少年インターネット適正利用推進協議会事業、沖縄県との若者交流事業、青少年健全育成大会など）の交付を行う。 ・長野・沖縄両県の若者が参加し、自然・歴史・文化などを学びながら、若者同士が交流する機会を提供する。 補助金交付先：長野県将来世代応援県民会議 青少年健全育成大会の開催 1回、性被害予防・情報モラル研修会補助 193件		
2	チャイルドライン支援事業	補助金	18歳までの子どもが架ける相談電話「チャイルドライン」の活動を支援することで、県内の子どもの声に寄り添える体制の強化を図る。 補助金交付先：長野県チャイルドライン推進協議会 支給対象 1団体、支給額 3,809千円		
3	青少年問題協議会開催事業	直接	子ども・若者支援に関する総合的な計画及び子どもを性被害から守るための取組について審議する。 開催回数 1回		
4	健全な社会環境づくり事業	直接 その他	・子ども・若者育成支援推進本部による県民運動の推進や、子どもを性被害から守るための啓発物品を作成し、周知啓発を行う。 ・長野県遊技業組合からの寄付金を「こどもの未来支援基金」に積み立てる。 リーフレット等作成 69,250部		

細事業 No.	細事業名		R5年度 予算現額	R6年度 予算現額	R7年度 予算
2	子どもの居場所づくり推進事業		38,325 千円	53,466 千円	予算現額 283,143 うち今回 補正額 △ 21,421 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	信州こどもカフェの推進	直接 補助金 その他	・信州こどもカフェの運営費を支援する。 加えて、物価高騰分の経費を緊急的に助成する（昨年度繰越分を含む。）。 ・信州こどもカフェ開催頻度向上等に向けた研修会を開催する。 ・ <u>テクノホーム長野株式会社、株式会社共和コーポレーション、長野県法人会連合会等からの寄付金を「こどもの未来支援基金」に積み立てる。</u> ・ <u>日本瓦斯株式会社からの寄付金を当年度の「信州こどもカフェ運営支援事業」の財源とするための財源更正。</u> 支給対象(こどもカフェ)80団体(緊急助成) 232団体、(プラットフォーム)10団体、研修会開催 2回		
2	子育て世帯食料品等緊急支援事業	直接 補助金	・長引く物価高騰の影響を受ける子育て世帯を支援するフードバンク団体に補助（昨年度繰越分及びコメ等緊急支援分を含む） ・ <u>実績見込みによる減額。</u> 支援対象 3団体		

細事業 No.	細事業名		R5年度 予算現額	R6年度 予算現額	R7年度 予算
3	困難を有する子ども・若者支援事業		72,812 千円	134,829 千円	予算現額 189,392 うち今回 補正額 △ 27,990 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	子ども・若者総合相談事業	委託	困難を有する子ども・若者が社会的自立に向けた支援を受けることができるよう、従来の「子ども・若者支援地域協議会」（子ども・若者サポートネット）を改組し「子ども・若者総合相談センター」を設置・運営 子ども・若者総合相談センターの設置 2地域（北信、中信）		
2	困難を有する子ども・若者の専門的な自立支援の場応援事業	補助金	困難を有する子ども・若者の自立支援の場の確保や社会参加促進のため、補助要件等を見直した上で運用 補助件数 5団体、補助額 11,000千円		
3	発達障がいのある子ども・若者の教育相談支援事業	委託	私立高校等の教員の発達障がいに対する理解向上や、発達障がい等による困難さを理由に中途退学した者への相談支援のため、専門相談員を派遣 教育相談窓口の設置 1箇所		
4	通信制高校サポート校等就学支援事業	補助金	通信制高校と連携する教育施設（サポート校等）に通う住民税非課税世帯の生徒への支援を行う。 支給対象 157人		
5	信州型フリースクール推進事業	直接 委託 補助金 その他	・不登校児童生徒の学校以外の学びの場の確保・充実のため、「信州型フリースクール認証制度」を補助対象経費や補助率を見直した上で運用し、フリースクール等民間施設の運営を支援 <u>実績見込みによる減額。</u> ・株式会社八十二長野銀行、セイコーエプソン株式会社からの寄付金を「こどもの未来支援基金」に積み立てる。 補助件数 37箇所、補助額 56,140千円		
6	ヤングケアラー支援対策推進事業	委託	専用相談窓口を設置して専門知識を有するコーディネーターを配置し、支援対応研修会の開催、外国語対応通訳派遣支援、実態調査等幅広くヤングケアラーへの支援を行う。 コーディネーター等配置事業委託 1団体		

細事業 No.	細事業名		R5年度 予算現額	R6年度 予算現額	R7年度 予算
4	発達障がい者支援事業		80,373 千円	79,643 千円	予算現額 84,178 うち今回 補正額 △ 7,884 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	発達障がい情報・支援センター事業	委託	発達障害者支援法に基づく発達障害者支援センターを設置し、発達障がい者及びその家族への相談支援、支援関係者に対する研修、普及啓発等を実施 発達障害者支援センターの設置 1か所		
2	長野県発達障がいサポート・マネージャー配置事業	委託	発達障がい者への支援体制整備のため、発達障がい者支援に関して知識と経験を有する「長野県発達障がいサポート・マネージャー」を配置 <u>実績見込みによる減額。</u> 発達障がいサポート・マネージャーの配置 10圏域		
3	発達障がい者支援体制整備事業	直接	乳幼児期から成人期までの各年代を通して、発達障がい者に適切な支援が提供できる支援体制のあり方を検討するため、医療、福祉、教育、行政等の関係者による「長野県発達障がい者支援対策協議会」を開催 発達障がい者支援対策協議会の開催 本会2回		
4	多様な発達特性を有する若者の就労促進事業	委託	ニューロダイバーシティ（神経学的多様性）の考え方の企業への普及啓発や、発達特性等の困難を抱える若者の社会的自立、就労促進・定着を行うため、「ニューロダイバーシティ推進員」を配置 ニューロダイバーシティ推進員の配置 2名		

細事業 No.	細事業名	R5年度 予算現額	R6年度 予算現額	R7年度 予算
5	子ども・若者支援事業	27,317 千円	49,449 千円	予算現額 268,075 うち今回 196,402 補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	長野県大学生等奨学金事業	直接 委託 その他	・将来有望な若者の大学等への進学を応援するため、給付型奨学金の支給を行うとともに、将来的に様々な形で長野県への貢献を志す奨学生が在学中から長野県と関わる機会を設ける。 <u>実績見込みによる減額。</u> ・公益財団法人千曲寮からの寄付金、「信州学生協会・信濃寮」大学修学等支援基金」運用益等を「信州学生協会・信濃寮」大学修学等支援基金」に積み立てる。 奨学金の給付 37名 奨学生交流会の開催 1回	
2	こどもモニター事業	委託	意見表明機会を確保するためのモニター制度を設け、子ども・若者の声を関連政策に反映する。 モニター登録 300名	
3	将来を担う若者交流・社会参画促進事業	委託	若者同士が交流し、ユースカウンスルの設立や若者の主体的な活動の支援につなげる場として、会議やイベント等を開催 会議・イベントの開催 5回	